

*この内容は、実話に基づくフィクションです。

ねずみ部京都支部発行004

2020年8月20日

ふくろのねずみ

冷やしねずみ はじめました

2020年は子年 ねずみ部 互いに向上を支援します



夏の風物詩、たとえば花火に風鈴、かき氷や蚊取り線香...? いえいえ、ねずみ部では“冷やしねずみ”です。というわけで今年もはじめました、“冷やしねずみ”! 今年の夏は暑いから、ねずみも人間も、“ねっちゅう症”には気を付けてね。

※冷やしねずみとは - ねっちゅう症にならないように、ねずみを涼しく冷やすこと。

ねずみ部 活動報告

2020年前半を振り返ります

ねずみ部の部員、そしてねずみ通信を愛読する“ねずみ愛好家”が増えてきた今日この頃。ここで一度、子年を背負って立つねずみたちのがんばりを振り返ります。(不要不急でない活動です)

幼稚園ねずみ編

幼稚園ねずみのちこちゃんとぺこちゃんは、幼稚園でのねずみ業務をがんばりました。



七夕の様子



普段の仕事中の様子



ねずての殿堂

“ねずての殿堂”とは、歴代のねずみ部部长・部員の功績と伝説を紹介するコーナーです。

故 ぎん・ねずみ部部长



先代の部部长を努めました。うちゅーせん(宇宙船)をすみかにしていました。(2019年没)



得意技は、しましまねずみ(副部长)の監視でした。



ねずて：ねずみの手のこと

そのほかのねずみ編

部長のもんは、テレワークでねずみ通信の編集を、部員のやまとくんは、家でのねずみ（自粛）生活をがんばりました。

夏休みの思い出編

夏休みに、ちこちゃん（左）と、やまとくん（右）と一緒に遊びました。



テレワークの様子

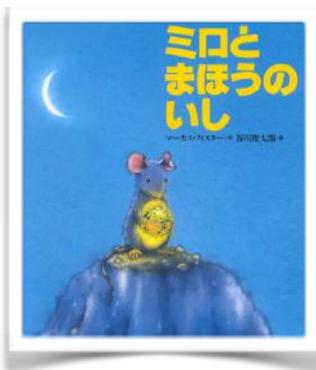
家でのねずみ生活の様子



ちこ（左） やまと（右）
ハム茶（飲茶）の様子

重要なお知らせ：諸事情により、次号からしばらく休刊します。

ちよろ休みしていく？ ～夏休み企画 2本立て～



『ミロとまほうのいし』 作：マーカス・フィスター 訳：谷川俊太郎
出版社：講談社

ミロと仲間のねずみたちは、海の真ん中にある島に暮らしていました。食べものを探していたミロは、岩のさげ目に“ひかるいし”を見つけます。

不思議な“いし”は、ひかるだけじゃなく、ほんわかとあたたかい...

いしをめぐるねずみたちの運命は、「しあわせ」か「かなしい」ものか、あなた次第。

『ウィリーをすくえ！ チム 川をいく』 作：ジュディ・ブルック

訳：あきのしょういちろう 出版社：童話館出版



野ねずみのチムと、はりねずみのブラウンさんが、紙の船を小川に浮かべてあそんでいたところへ、手紙の入ったビンがながれてきました。

「たすけて！ どぶねずみの一味につかまっている。おねがいたすけて。」

どぶねずみの悪党につかまった、“かえるのウィリー”をたすけるために、2ひきは、小川をくだって“やつらのかくれ家”へ向かいます。

どぶねずみが目を覚ます前に、ウィリーをたすけなきゃ！！

本紙は、ねずみをこよなく愛する、ねずみの、ねずみによる、ねずみのための「ねずみ部」によって運営されています。